

国立大学法人 長岡技術科学大学
令和4年度第5回経営協議会議事要旨

日 時 令和5年1月25日(水) 14時30分～16時15分

場 所 【Zoomミーティングによるオンライン会議】

出席者 鎌土議長、天羽委員、荒木委員、池田委員、小花委員、角田委員、合田委員、関委員、谷口委員、Tran委員、和田委員、梅田委員、吉田委員、佐藤委員、武田委員、井原委員、高見委員（議事の表決委任による出席 磯田委員）

陪席者 日下部監事、野本監事、大石附属図書館長

事務局 事務局次長（総務担当）、事務局次長（特命担当）、人事労務室長、財務課長、監査室長、企画・広報室専門職員、財務課予算係長、財務課予算係員、総務課専門員、総務課総務係長、総務課総務係員

議事に先立ち、鎌土議長から令和4年度第4回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 就業規則等の一部改正について

佐藤委員から、資料1-1～資料1-7に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 令和5年度長岡技術科学大学予算編成方針について

佐藤委員から、資料2-1から資料2-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○ エネルギー価格の高騰の影響についてどの程度見込まれているか

● 令和3年度実績については2億6千2百万円であったのに対し、今年度の見込が3億5千5百万円であり、約1億円の増加を見込んでいる。

政府の支援策等を踏まえた令和5年度の見込が5億4百万で、令和4年度の見込に対して1億5千万円の増加となっているので事業の見直しも含めて予算方針案に基づいて適切に編成していきたい。

報告事項

1. 令和5年度長岡技術科学大学予算内示額について

佐藤委員から、資料3-1～資料3-5に基づき報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○ 大学教育改革に向けた取組の実施状況は前年より順位を下けているが原因は何か。

- ディプロマ・サプリメント（学位証書補足資料）やそれに代わる資料など、成績表以外で在学中の学習成果を学生ごとに客観的・多角的に可視化し、就職活動時や卒業時に企業に対してわかりやすく提示する取組ができているか等が評価されたが、本学の取組が不十分と判断されたために順位が下がった。

2. 工学専攻とシステム安全工学専攻の改組について

和田委員から、資料4に基づき報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

- 日本の経営者はまだ、サステナブルグロースを十分理解していないように思う。サステナビリティを考えていくと安全は企業の根幹である。安全のマインドを学生時代に身につけた技術者が優秀な経営者になるための大事な資質だと思っている。今回の改組は非常に素晴らしいと思う。

以上